

【広島市消費者物価指数】

1 平成24年9月の動向

- 広島市総合指数（99.4）は前月比で下落。前年同月比は4か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.7）は前月比で下落。前年同月比は5か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.6）は前月比で5か月連続の下落。前年同月比は13か月連続の下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.4	▲0.1	▲0.8
生鮮食品を除く総合指数	99.7	▲0.1	▲0.3
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.6	▲0.2	▲0.9

3 前月からの動き

～被服及び履物は上昇、教養娯楽は下落。～

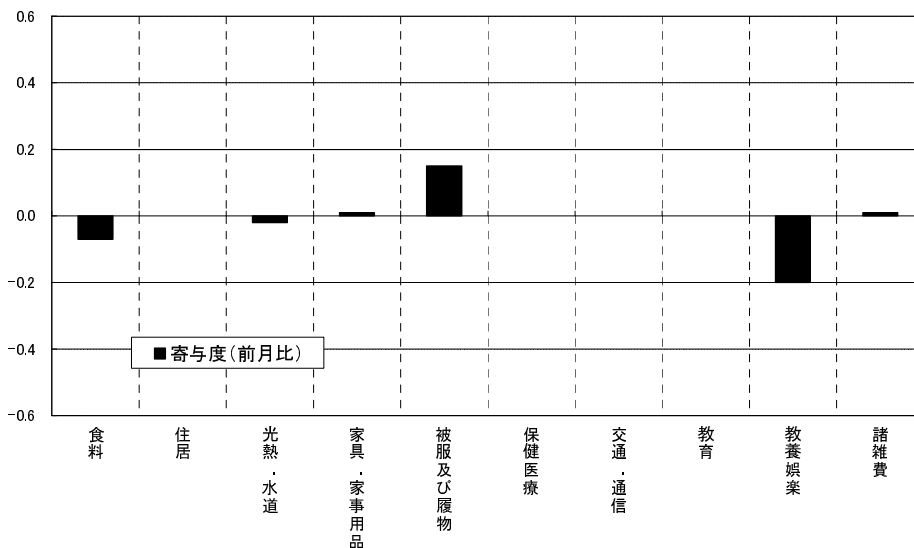
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	99.4	98.6	99.2	106.5	93.6	101.9	99.0	101.1	98.4	94.5	103.1
前月比 (%)	▲0.1	▲0.3	0.0	▲0.3	0.2	3.4	▲0.1	0.0	0.0	▲1.8	0.1
寄与度	▲0.1	▲0.07	0.00	▲0.02	0.01	0.15	0.00	0.00	0.00	▲0.20	0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 被服及び履物：シャツ・セーター類（前月比 11.7%，寄与度 0.11）等
- 教養娯楽：教養娯楽サービス（前月比 ▲3.2%，寄与度 ▲0.20）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
シャツ・セーター類(婦人セーター[長袖] 等)	11.7%	教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	▲3.2%
自動車等関係費(ガソリン 等)	1.2%	交通(航空運賃 等)	▲3.4%
野菜・海藻(えのきだけ 等)	1.8%	果物(もも 等)	▲8.3%
洋服(男児ズボン 等)	2.3%	魚介類(えび 等)	▲2.6%
穀類(うるち米 等)	1.3%	肉類(牛肉[国産品] 等)	▲1.8%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道が上昇し、食料、教養娯楽が下落。～

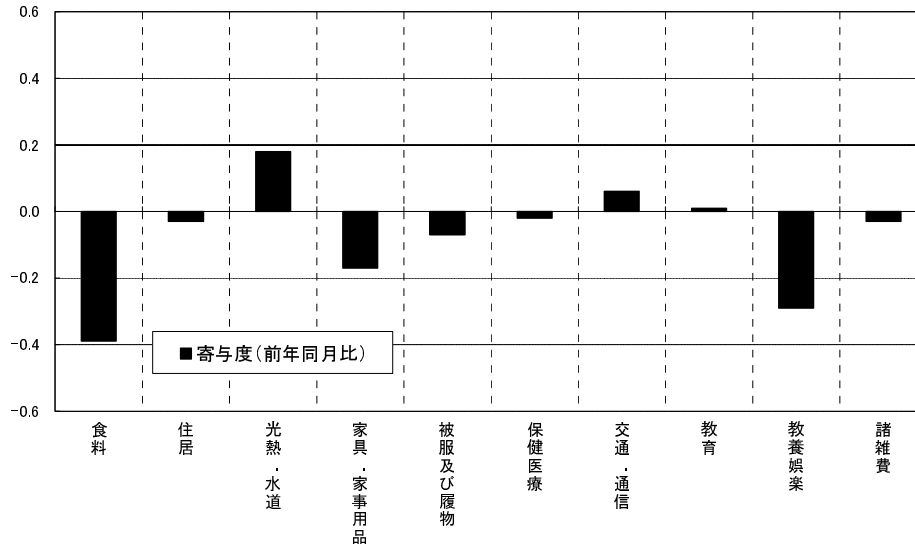
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 0.2	2.3	▲ 4.4	▲ 1.5	▲ 0.4	0.4	0.2	▲ 2.6	▲ 0.5
寄与度	▲ 0.8	▲0.39	▲ 0.03	0.18	▲ 0.17	▲ 0.07	▲ 0.02	0.06	0.01	▲ 0.29	▲ 0.03

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 光熱・水道：電気代(前年同月比 3.2%, 寄与度 0.12) 等
- 食料：野菜・海藻(前年同月比 ▲13.2%, 寄与度 ▲0.38) 等
- 教養娯楽：教養娯楽サービス(前年同月比 ▲2.7%, 寄与度 ▲0.17) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
電気代(電気代 等)	3.2%	野菜・海藻(レタス 等)	▲13.2%
自動車等関係費(ガソリン 等)	1.6%	教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	▲2.7%
調理食品(うなぎかば焼き 等)	2.9%	教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	▲8.7%
ガス代(都市ガス代 等)	3.3%	家庭用耐久財(電気冷蔵庫 等)	▲8.9%
穀類(うるち米 等)	2.4%	家賃(持家の帰属家賃 等)	▲0.5%